

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 05010060

政策目標	2	めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6	保健・医療の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	成人保健の充実	政策事務分類	4	法定自治事務	
事業名	結核等予防対策事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	5	保健福祉課	
事業主体	雄武町		関係課	14	国保病院	
事業指標	結核検診受診率			1	総務課	
事業目標	25%		ハード/ソフト 事業区分	2	ソフト事業	
住民参加 住民協働	有	検診受診等の健康維持に資する行動の実践	関係例規・法令名	有	感染症予防法	
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	結核検診を実施することにより結核の早期発見、 早期治療及び結核感染を防止する	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及 ・新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく備蓄等	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及 ・新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく備蓄等	
	感染症全般の予防、支援に資する						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	2,227	240	279	295	699	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	2,227	240	279	295	699	714	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,615	265	177	238	495	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	1,615	265	177	238	495	440	
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) ・結核検診の実施 検診受診者数 177名 受診率 20.8%	(実施内容等) ・結核検診の実施 検診受診者数 114名 受診率 13.2%	(実施内容等) ・結核検診の実施 検診受診者数 157名 受診率 26.3%	(実施内容等) ・結核検診の実施 健診受診者数 162名 受診率 30.2%	(実施内容等) ・結核検診の実施 健診受診者数 141名 受診率 25.0%
		【評価・実績】	(65歳以上肺がん検診受診者108名) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(65歳以上肺がん検診受診者108名) ※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	(65歳以上肺がん検診受診者108名) ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(65歳以上肺がん検診受診者数115名) ・感染症対策備蓄整備 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(65歳以上肺がん検診受診者数97名) ・感染症対策備蓄整備 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	18%	20%	22%	24%	25%
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	110%	63%	81%	71%	62%
	全体達成率	12%	20%	31%	53%	73%	
	備考欄						

事業名	結核等予防対策事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	小野 美和

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	65歳以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	検診受診率	
【抱える課題やニーズは】	体力低下時に結核を発症するおそれがある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	結核の早期発見、早期治療ができる。	① 検診受診率	目標年度	平成29年度
			目標値	25%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	結核の流行を予防することができる。	② 検診受診率(前年比)	実績値	25%
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	結核検診の実施	町内医療機関への委託により結核検診(胸部レントゲン検査)実施		
	集団感染防止のための医薬品等の備蓄	新型インフルエンザ等対策のために必要な医薬品等の物資や資料の購入		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	感染症予防法により市町村は結核検診の実施義務がある。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	結核の流行はなく目標は達成された。また、新型インフルエンザ等対策として医薬品等の備蓄を行うことができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	医療機関への委託により作業の軽減が図られるとともに、対象者が重複するインフルエンザ予防接種と周知等を同時にすることで効率化を図った。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	広報やホームページ等により町民に広く周知し、公平性の確保に努めた。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
結核の流行はなく目標が達成された。また、委託医療機関の協力により、事業の効率化を図ることができた。また、新型インフルエンザ等対策の実施に必要な医薬品等の物資及び資料を購入し発生時に備えることができた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
今後も感染症予防行動計画に基づき、結核等の感染症予防対策を実施する必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止